

会社概要

会社名	いちよし証券株式会社 (証券コード：8624) Ichiyoshi Securities Co., Ltd.
創立	1950年8月18日
本社所在地	東京都中央区八丁堀二丁目14番1号
代表者	執行役社長 武樋 政司
電話	03-3555-6210（代表）
資本金	145億77百万円（2010年9月30日現在）
従業員数（連結）	977名（2010年9月30日現在）
店舗数	36店舗（2010年9月30日現在）
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部

株式等の状況

株式数および株主数	
発行可能株式総数	168,159,000株
発行済株式総数	44,431,386株
	(自己株式910,956株を含む)
株主数	14,102名

大株主

株 主 名	持株数	出資比率
野 村 土 地 建 物 株 式 会 社	千株 5,298	% 12.17
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 常任代理人 香港上海銀行東京支店	2,235	5.13
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505223	2,058	4.72
ジェイピーモルガン クリアリングコーポセク	1,368	3.14
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	1,213	2.78

(注) 出資比率は自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711（通話料無料）
上場金融商品 取引所	東京・大阪両証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ichiyoshi.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、日 本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
(配当金計算書について)
同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。
なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

株主の皆様へ

第69期
事業の中間ご報告
2010年4月1日 ➤ 2010年9月30日

Contents

1	株主の皆様へ
2	いちよしの成長戦略 ―店舗戦略
3	いちよしの成長戦略 ―商品戦略
5	いちよし基準 社会貢献活動（CSR） 情報提供ツール
6	四半期連結財務諸表
7	会社概要 株式等の状況 株主メモ

「お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける」ために

当社クレドの掲げる経営理念は、「お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける」ことです。そして、その実現のためには、当社が「金融・証券界のブランド・ブティックハウス」になることと考えております。私をはじめ、一人ひとりの役職員が常に「いちよしのクレド」の「感謝・誠実・勇気・迅速・継続」や「Long Term Good Relation」を日々行動する上での指針とすることにより、一步でもその実現に近づく努力をしております。

当社は本年、創立60周年を迎えました。本年を第2のスタートを切る節目の年としてとらまえ、「今までの日本にない証券会社をつくろう」を合言葉に役職員一同、尽力して参る所存です。

今後とも、より一層のご指導、ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

2010年11月



取締役（兼）執行役社長

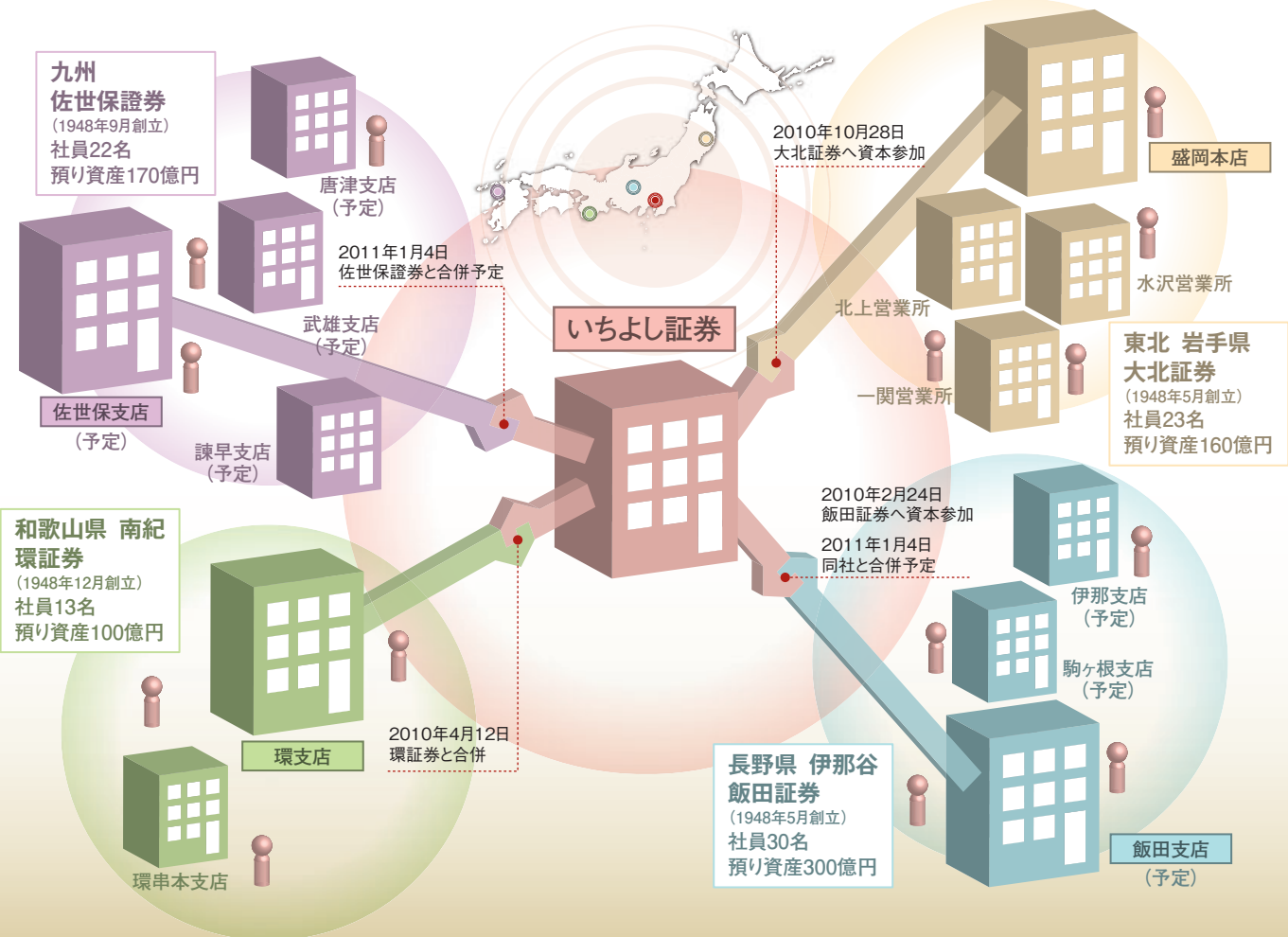
武樋政司

クレド	
経営理念	
お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける	
経営目標	
金融・証券界のブランド・ブティックハウス	
行動指針	
感謝 誠実 勇気 迅速 継続 Long Term Good Relation	
社員のために 社員の個性を尊重し人材の育成に努める	お客様のために 一人、一人の「いちばん」でありたい
いちよし精神 情熱をもって、真摯に努力し続けます。	お客様第一 常にお客様の立場に立ち、まごころを込めて、アドバイスをいたします。
働きがい チームワークを重視し、社員の能力・創造性を活かした自由闊達な企業風土を構築します。	良質なサービス 社会や市場の変化に対応し、質の高い商品やサービスを提供します。
株主のために 持続的な業績向上を図り企業価値の増大に努める	社会のために 金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献する
株主還元 事業の収益性と財務の健全性を高め、株主への利益還元を図ります。	社会的責任 法令・諸規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。
情報の開示 経営の透明性を確保するために、情報を適切に開示し、IR活動に努めます。	社会貢献 企業活動を通じて地域社会と証券市場の発展に貢献します。

店舗戦略

より多くのお客様にいちよし基準を提供するために

当社は、新中期経営計画のひとつに、成長戦略の一環としましての「チャネルの多様化」を挙げており、経営理念や販売戦略を共有できる地方証券とのネットワーク構築を図っております。これまで、2010年2月24日に飯田証券（長野県飯田市）への資本参加、2010年4月12日に環証券（和歌山県新宮市）との合併を行いました。さらに、2010年10月28日、大北証券（岩手県盛岡市）へ資本参加し、協働による事業展開を図っております。また、現在、飯田証券及び佐世保証券（長崎県佐世保市）との合併（2011年1月4日予定）に向け準備を進めております。



商品戦略

お客様一人、一人のために

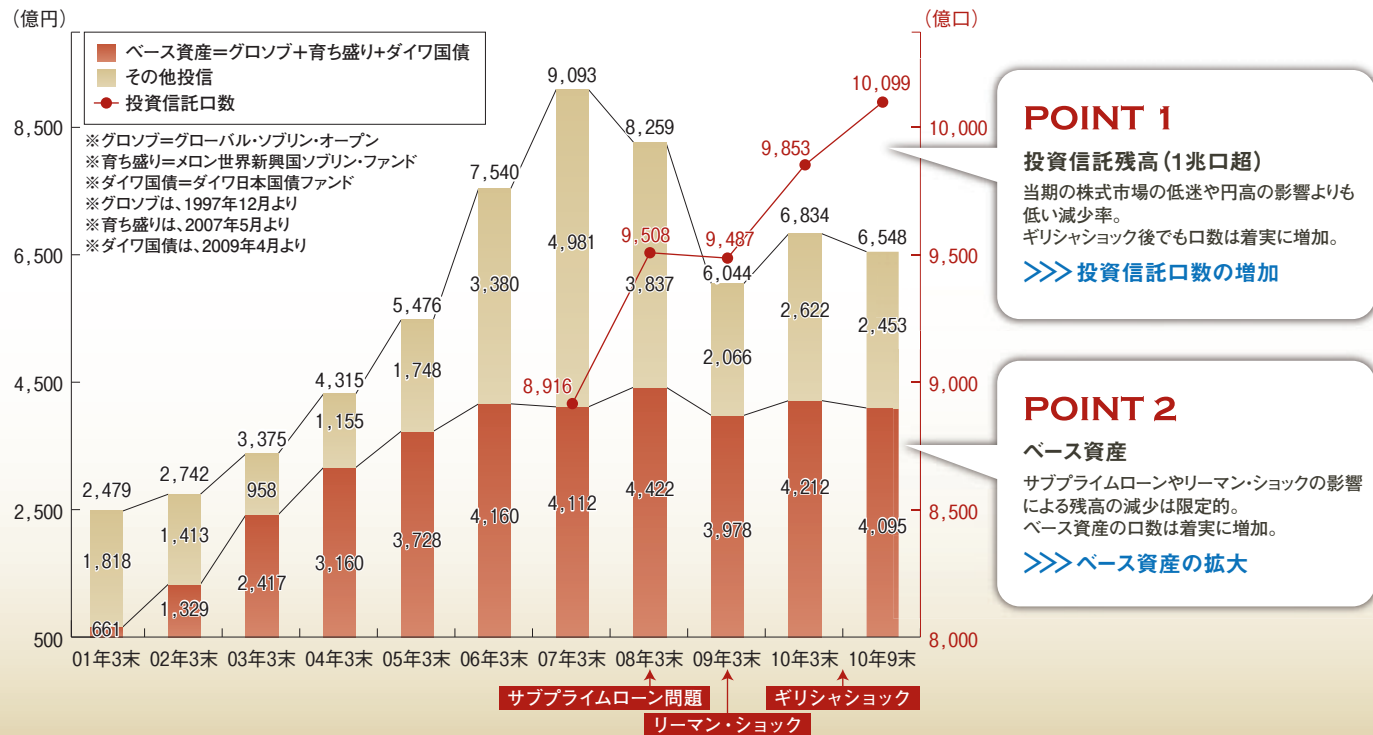
いちよしの預り資産の特長

当社は、預り資産をお客様の信頼のバロメーターと考え、重要な指標と位置づけています。

今期は、株式市場の低迷や円高による外貨資産の目減りにより、投資信託の預り残高（9月末）は、3月末に比べ4%減少しました。しかしながら、一方で投資信託の口数は、9,853億口（3月末）から、1兆99億口（9月末）となり1兆口を突破しました。つまり、投資信託の基準価額の低迷により、投資信託の預り残高（金額ベース）は減少していますが、着実にお客様からの信頼を積み重ねていると言えます。

当社は、安定性の高い運用資産を中心とした投資信託をベースに預り資産の増大を目指し、個人金融資産の持続的な成長の案内役としてアドバイス活動に努めて参ります。

投信の土台再構築⇒より裾野の広い土台を作る



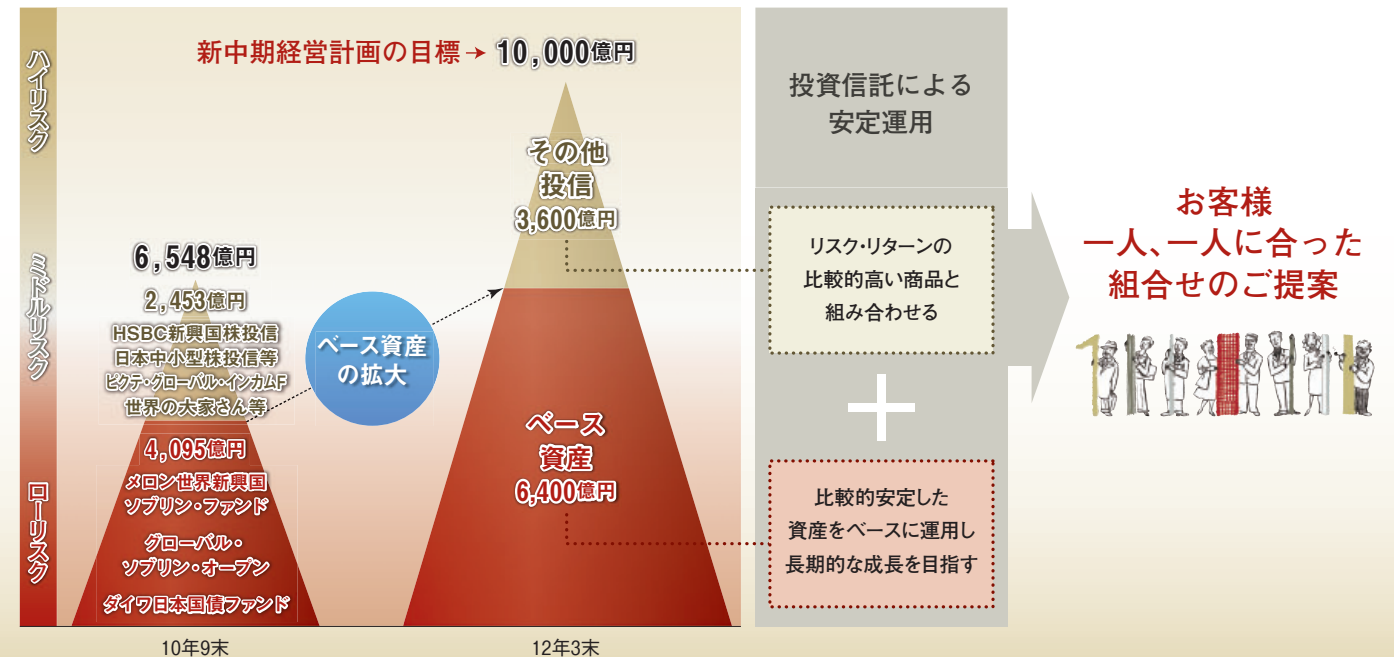
いちよしの取り組み

当社ではお客様の金融資産の安定的な成長を目指し、ソブリン債券を投資対象とするローリスクの毎月分配型投資信託を「ベース資産」と位置づけています。具体的には、「グローバル・ソブリン・オープン」、「メロン世界新興国ソブリン・ファンド（愛称：育ち盛り）」、「ダイワ日本国債ファンド」です。

p.3のグラフをご覧になっていただくと分かるように、これら「ベース資産」と呼ぶ投資信託は、サブプライムローン問題、リーマン・ショックの影響による残高の減少幅は限定的でした。

当社の商品戦略は、安定的資産「ベース資産」を中心に、お客様の投資の目的やリスクの許容度に合わせ、お客様一人、一人に合わせた総合的な金融資産の組合せをご提案することです。また、運用期間中も定期的に情報提供を行うなど、きめ細やかなアフターフォローを心掛けています。

当社はこのような商品戦略を採用することで、安定的な経営モデルを構築し、市況の影響を受けにくい収益構造を構築することを目指しています。



いちよし証券には、10年来ずっと守り続けている「個人のお客様向け商品についての原理原則」があります。それがお客様との信頼関係構築につながると考えています。

“売れる商品でも、売らない信念。” ー「いちよし基準」(10年来実施)

- 公募仕組み債は取り扱いません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。外国株は投信での保有をお勧めします。
- 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX (外為証拠金取引) は取り扱いません。



社会貢献活動 (CSR)

当社はこれまで、子どもたちの幸せな成長を支援する国際NGO『財団法人日本フォスター・プラン協会 (プラン・ジャパン)』を通じ、世界各地の途上国を中心として学校建設のための資金を寄付して参りました。

今期は創立60周年を記念して、当社の寄付により建設された学校として6校目になる「A.エルモサ・メモリアル小学校」(フィリピン)を建設する資金を寄付いたしました。



写真提供：プラン・ジャパン

情報提供ツール

お客様に的確な情報を提供するために、さまざまな定期刊行物・各種レポート等の情報提供ツールをご用意しております。

JASDAQ Monthly

[発行／月1回]

いちよし経済研究所のアナリストが中小型成長株を中心にさまざまな角度から取材・調査・分析したレポートの総合誌。

いちよし 投資情報

[発行／月1回]

株式投資を行う上で重要となる国内外の政治経済・金融市場動向の現状をわかりやすく解説。注目される投資テーマや参考銘柄をご提案。

四半期連結財務諸表

■ 第2四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (2010年 3 月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2010年 9 月30日)
●資産の部		
流動資産	29,234	25,002
現金・預金	9,226	13,707
預託金	3,111	2,426
トレーディング商品	425	373
約定見返勘定	33	2
信用取引資産	9,994	6,851
募集等払込金	5,419	854
固定資産	8,020	7,750
有形固定資産	4,295	4,242
無形固定資産	607	530
投資その他の資産	3,118	2,977
投資有価証券	1,762	1,618
資産合計	37,254	32,753
●負債の部		
流動負債	9,402	6,709
トレーディング商品	4	—
信用取引負債	4,244	2,398
有価証券担保借入金	34	11
預り金	2,534	2,603
固定負債	796	685
長期借入金	438	423
特別法上の準備金	138	98
負債合計	10,337	7,493
●純資産の部		
株主資本	28,758	27,111
資本金	14,577	14,577
資本剰余金	8,255	8,273
利益剰余金	6,441	4,721
自己株式	△517	△460
評価・換算差額等	△1,882	△1,905
新株予約権	11	22
少数株主持分	30	30
純資産合計	26,917	25,259
負債・純資産合計	37,254	32,753

(注) 主な科目を掲載しております。

■ 第2四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 自 2009年 4 月 1 日 至 2009年 9 月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2010年 4 月 1 日 至 2010年 9 月30日
営業収益	8,156	6,101
受入手数料	7,244	5,323
トレーディング損益	473	297
金融収益	130	109
その他の営業収益	308	370
金融費用	45	31
純営業収益	8,110	6,069
販売費・一般管理費	7,938	7,248
取引関係費	809	710
人件費	4,422	3,935
不動産関係費	890	857
事務費	1,067	1,072
営業利益又は営業損失 (△)	171	△1,178
経常利益又は経常損失 (△)	139	△1,211
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	121	△1,199

(注) 主な科目を掲載しております。

